

## コミュニケーション法

到達目標:コミュニケーションの理論とその実践的な活用方法を身につける。

科目責任者(所属):最上多美子(臨床心理学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座 ・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	10/6(木)	2	111	援助関係のコミュニケーション	最上 多美子	臨床心理学	援助関係やコミュニケーションに関する基本的理論を学び人間理解を目指す。	ジョハリの窓、援助関係
2	10/13(木)	2	111	非言語的コミュニケーション	最上 多美子	臨床心理学	コミュニケーションの非言語的側面の観察と留意点に気付く。	体の動き、空間、環境
3	10/20(木)	2	111	人間の発達と人間関係のコミュニケーション	竹田 伸也	臨床心理学	人間の発達と人間関係のコミュニケーションの広がりについて理解を深める。	母子・家族・友人関係、遊び・社会性・恋愛関係、互酬性、自己開示、好悪の感情とそのバランスなど
4	10/27(木)	2	111	人を傷つけ、萎縮させるコミュニケーション	竹田 伸也	臨床心理学	人を傷つけ、萎縮させるコミュニケーションの理解から、人を癒し、援助するコミュニケーションの基本原則を考える。	心に痛手とそこからの回復、ダブルバインド、ハイEE、
5	11/10(木)	2	111	人の心を癒し、成長させるコミュニケーション	井上 雅彦	臨床心理学	人を傷つけ、萎縮させるコミュニケーションの理解から、人を癒し、援助するコミュニケーションの基本原則を考える。	自由で創造的なコミュニケーション、拘束的でないこと、安らぐこと、成長すること
6	11/17(木)	5	111	心理療法とカウンセリングのコミュニケーション	吉岡 伸一	地域・精神看護学	心理療法やカウンセリングなど援助的なコミュニケーションについて理解を深める。	心理療法の歴史、シュヴィング法、催眠からリラクゼーションへ、意識と無意識、自己表現、創造性
7	11/24(木)	2	111	対人援助とコミュニケーションの実践①	角南 直美	医学教育学	臨床的・援助的なコミュニケーションについて傾聴のエクササイズを行う。	ちょっと困った問題を話してみる。受け止めること、受容すること受け答えのエクササイズ。
8	12/1(木)	2	111	対人援助とコミュニケーションの実践②	光田 優子	地域・精神看護学	臨床的・援助的な場面での例題をもとにした応答を考える。	応答のポイント、カウンセリングと臨床・援助場面への応用

評価: レポート 60%  
出席 40%